



十年目の秋

遊休農地でさつまいもの収穫

松野木の遊休農地において、十月二日、さつまいもの収穫が行われました。

富士幼稚園、ひまわり幼稚園の園児、八晃園の園生、VIC・ウーマンのメンバーら約百六十人が参加し、市農業委員をはじめ関係機関協力のもと作業がすすめられました。

つるを引っ張り勢い余ってしりもちをつく園児や、小さな体で大きなさつまいもを何個も抱え、運ぶ園児。鈴なりのさつまいもが掘り出される度に、園児たちは歓声を上げ、無事収穫できた喜びを全身で表現していました。

収穫量は、豊作であった去年より少ないものの、質の良いさつまいもを前に園児達は、「早く食べたい。」「大学いもを作って欲しい。」「帰ってから、何本とれたか数えるのが楽しみ。」と、興奮気味。収穫されたさつまいもは、園での給食や、おやつに材料として使われるそうです。

「自分で作ったさつまいもは、どのように調理しても、おいしく感じられるんですよ。」と園の方は話してくれました。

遊休農地を活用したこの事業は、様々な方の協力を得て、今年で十年目を迎えました。遊休農地の有効活用だけではなく、地産地消の推進、食育にも繋がっていきます。



十月十三日には、ボランティア連絡協議会のメンバーが収穫を行いました。収穫したさつまいもは、十一月に行われる菊ヶ丘公園の清掃活動の際、焼き芋にして協力者に配られるということでした。一つの事業が鈴なりのさつまいもの様に繋がりに、実を結ぶ。今年も、その役割は果たせようです。

農業簿記講座 受講生募集

農業経営の改善を図るには、経営者自らが経営状態を知ることが重要です。複式簿記の記帳から得られる、あらゆるデータを基礎資料として、分析・診断・対策・実践することが求められます。

計画的な資金管理のもとで農業経営を行うためには、複式簿記による記帳と貸借対照表の作成が必要となります。

簿記講習を初めて受ける方はもちろん、以前受講した方もっと詳しく学びたいという方もお気軽にご参加ください。

1 日程及びカリキュラム

実施日	テーマ	学習内容
11月27日 (火)	簿記の仕組みと流れをつかもう	①簿記一巡の手続き (開始残高から精算表までの一巡)
11月30日 (金)	貸借対照表を作ろう	①固定資産、棚卸資産の評価方法 ②貸借対照表の作成方法
12月4日 (火)	自在に仕訳をしよう	①取引の意味と仕訳の要領 ②いろいろな取引と仕訳の仕方
12月5日 (水)	決算で経営成果を締めくくろう	①決算の意義と決算整理仕訳の要領 ②精算表の作成方法 ③営農上よくある取引と仕訳の仕方
12月12日 (水)	総合問題にトライしよう	①総合実践演習(力だめし)

2 開催時間

5日間とも午前10時～午後3時30分

3 開催場所

五所川原市民学習情報センター
(旧地域職業訓練センター) 大教室
(五所川原市字一ツ谷503-5 Tel 0173-38-5115)

4 募集対象者

認定農業者、認定志向農業者、地域リーダー(集落営農組織代表者・経理担当者)のいずれかに該当する方で、全日程に参加できる方

5 受講料他

受講料 3,000円(全日程分の昼食代含む)
※お納めいただいた受講料は、当講座が中止にならない限り返還はいたしませんのであらかじめご了承ください。
教材費 1,700円
(農業経営簿記Ⅰ・Ⅱ 1,300円、固定資産台帳 400円)
※既に教材をお持ちの方は、購入する必要はありません。

6 受講者が持参するもの

鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム、大きめの電卓、農業経営簿記Ⅰ・Ⅱ、固定資産台帳

7 申込方法

11月12日(月)までに、お近くの農業委員会に受講料、教材費を添えてお申込みください。

《問い合わせ先》

市農業委員会 農政係 Tel 35-2111 (内線2772)

平成24年 第3回農業委員会総会

10月19日(金)、五所川原市農業委員会総会が五所川原市民学習センターで開催されました。

大会では、議長の斎藤靖裕農業委員会会長の進行により、議案第4号 五所川原市農地移動適正化あっせん基準細則の見直し(案)についてが提案審議され、原案どおり可決されました。

農地パトロールを実施しました

平成21年12月の改正農地法施行により、農地の権利を有する者の責務規定が設けられるとともに、農業委員会の役割として『農地の利用状況についての調査』が義務付けられました。

五所川原市農業委員会では、利用状況調査のため8月27日から9月12日の期間、管内すべての農地を各地区の農業委員と農林水産課職員と共にパトロールしました。その結果、新たに確認できた耕作放棄地は約10ヘクタールで、全体で約26ヘクタールとなりました。年々増加傾向にありますが、『再生利用事業』を活用し約1ヘクタールの再生農地がある事も確認できました。今後も、所有者の意向調査を行い指導していく予定です。



「地産地消を楽しむ会」参加者募集

五所川原市地産地消を進める会(会長 花田順子)では、毎年恒例の「地産地消を楽しむ会」を開催します。地元で採れた食材にこだわり、地産地消の普及を目的とし、様々な献立を参加者と共に調理、試食します。皆様の参加をお待ちしております。

日時 平成24年12月3日(月) 午前10時～午後2時
場所 五所川原市中央公民館 3階調理室
募集人員 30人(先着)
参加費 500円(材料費として)
募集締切 平成24年11月22日(木)

※ただし、募集人員に達し次第受付終了

▶参加申込先 五所川原市地産地消を進める会事務局
(五所川原市農業委員会事務局内)
Tel 35-2111 (内線2774)

「けっぱれ! 担い手」

今回は、金木町喜良市にお住まいの古川大晴(こがわひろはる)さんをご紹介します。

産業まつりに、青年農業会議の一員として参加していた古川さん取材してきました。

青年農業会議では、自分達で栽培した米を、産業まつりで販売しています。毎年、来場者からは「安くて美味しい。」と好評を得ています。「自分達が作ったものを、食べてくださる方たちに直接販売できるって、うれしいですね。去年も買って、美味しかったから、また今年も来たよ。って言われると、来年もいい米を作ろうって思います。」と笑顔で話す大晴さん。

今は、二十ヘクタール程の水稲を中心に営農しています。大晴さんが中心となり農作業を行っているそうです。航空防除などにも積極的に参加し、これからの農業の課題となる『集落営



農』についても、必要性を強く感じているといいます。「TPP問題など日本の農業にとって不利な状況が続く中で、集落営農は重要だと思っています。しかし、それは容易ではありません。一人の力ではどうにもならないけど、青年農業会議のメンバー、地元農家の人達と力を合わせて、五所川原の農業を守っていかたいいな、そう思っています。」厳しい表情で、これからの展望について語ってくれた大晴さんですが、七月に生まれた長男の話になると別人の様。「これから、守っていくべき人が一人増えて、農業に対する考えや、意識が変わってきました。」と照れくさそうに、そしてうれしそうに話す大晴さんは、すっかり父親の顔になっていました。

第6回 アグリスクール開催 川倉産そば粉をつかってそば打ち体験

アグリスクール第6回講座が10月13日(土)に開催されました。練る、伸ばす、切る、茹でるといった工程を経て、川倉産のそば粉を使ったそばができてきました。

受講者達は、大きくて重い包丁を初めて手にし、慎重にそばを切っていました。麺の太さにばらつきはありましたが、食感と香りの良い打ちたてのそばを、受講者は味わっていました。次回の講座が最終となります。次回は、11月10日(土)に、遊休農地で収穫したこんにゃくいもを使い、こんにゃくを作る予定です。全7回の講座を通して、『農』を身近に感じ、『食と農』について考え学ぶことを目的としています。



各種申請書の受付締め切り日について

当委員会では各種申請書の受付締め切り日を次のように設定しています。

◎農地法第4条申請書、第5条申請書

- 農地を農地以外のものとして使用する場合
例：資材置場・駐車場等

毎月末日締め切り(末日が市役所閉庁日の場合は翌日)

◎農地法第3条申請書、農用地利用集積計画書の同意、競売・公売買受適格証明願

- 農地を農地として貸借・売買する場合、競売・公売の入札に参加する場合

毎月5日締め切り(5日が市役所閉庁日の場合は翌日)

◎あっせん申出書

- あっせんにより農地を貸借・売買する場合

毎月15日締め切り(15日が市役所閉庁日の場合は翌日)

※許可のポイント、申請から許可までの流れ、必要書類一覧表等については、農業委員会に備えています。

【問い合わせ先】

市農業委員会農地係 TEL 35-2111 内線2776

総会・部会の開催予定

◎平成24年11月農地部会・農業振興部会・総会

【11月21日(水)】場所：五所川原市民学習情報センター

◎平成24年12月農地部会・農業振興部会

【12月20日(木)】場所：五所川原市民学習情報センター

※法令により総会・部会等の会議は公開されております。また、会議録は農業委員会事務局にて閲覧できます。

【問い合わせ先】市農業委員会 TEL 35-2111 内線2771

認定農業者の相談

農業委員会では、認定農業者を希望する農業者の方々に対し、「農業経営改善計画認定申請書」の記入方法等について、相談日を設けております。(※金木地区、市浦地区の方は、各支所で受け付けております。)

相談日については、事前の予約が必要となりますので、農業委員会、各支所へ電話にてお申し込みください。※生産調整の達成、未達成は問いません。

農業の経営とくらしに
役立つ情報をお届けする



- 毎週金曜日発行
- B3版8～10頁建
- 購読料：月600円[送料、税込み]

◇購読のお申し込みは、お近くの農業委員または市農業委員会事務局までお願いします

編集後記

直撃かと思われた台風18号も、爪あとを残さず静かに去っていった。テレビの画面に映し出された、台風の進路図を4歳になる我が子が指でなぞりだした。タッチパネルの様に、指先で台風の進路を変えたかったらしい。それが現実となる日がくるかもしれない。そうすれば、完璧な農作物が収穫され、生産者が、天候に左右されることなく安心して農業に従事できるだろうか。いや、違う。気まぐれな天候を相手に、先人から、そして経験から得た知恵や技術をもち、農作物を守ってきた。不作より、豊作であることに越した事はないが、苦境に立たされることによって得る事も多々ある。我が子が言った。「大好きなりんごが落ちてしまうから台風は嫌だ。」私は言う。「落っこちたりんごも、ちゃんと美味しいジュースになるんだよ。」タッチパネルの素晴らしさより、伝えたい大切な事。我が子にどれだけ伝わっただろうか。

農地情報 平成24年11月現在

下記の農地について、受け手を捜しています。価格等の条件は交渉できる場合もあります。農地の位置図もありますので興味のある方は、事務局農地係へご連絡ください。

受付番号	区分	農地所在	地目	ほ場整備	面積(a)	利用状況	10a当り希望価格
35	売渡	持子沢字三原	田	済	139.5	休耕田	55万円 (応相談)
		高野字北原			4.0		
		高野字柳田			53.1		
		前田野目字長峰			18.3		
52	貸付	羽野木沢字隈無	畑		65.8	原野化	標準
61	売渡	原子字紅葉	畑		19.4	休耕田	15万円(応相談)
69	貸付 売渡	毘沙門字上熊石	畑		27.9	休耕田	交渉次第
76	売渡	金木町川倉宇田野	畑		11.3	休耕田	30万円
79	貸付	金木町芦野	畑		19.8	休耕田	1万円
80	貸付	梅田字福浦	畑	済	30.1	りんご	1.2万円
87	交換	藻川字間手川	田		138.5	水稲	畑との交換希望
89	貸付	飯詰字狐野	畑	未	24.9	休耕田	標準
		飯詰字桜田	田		31.3		標準
94	売渡	金木町嘉瀬萩元	畑	未	3.5	休耕田	5.5万円
97	売渡	金木町芦野	田	未	40.8	休耕田	交渉次第
98	売渡	下岩崎字尾花原	田	未	22.05	麦	20万円
		下岩崎字駒返	田	未	19.13	麦	20万円
101	貸付	金木町嘉瀬上端山崎	田	未	30.99	水稲	全部で米4俵
105	売渡	長富字鎧石	田		65.0	水稲	交渉次第
107	貸付	小曲字沼田	畑		8.5	休耕田	無償貸与
108	売渡	神山字山越	畑	未	63.2	りんご	売渡20～25万
	貸付	神山字山越	田	有	73.09	休耕田	貸付交渉次第
117	売渡	金木町嘉瀬駒留	田	有	1.70	水稲	交渉次第
118	売渡	金木町嘉瀬駒留	田		3.92	水稲	交渉次第
120	貸付	金木町喜良市坂本	畑		19.17	休耕田	5千円～1万円
121	貸付	金木町喜良市坂本	畑		13.63	休耕田	5千円～1万円
122	貸付	金木町喜良市坂本	畑		13.71	休耕田	5千円
123	売渡	金木町喜良市坂本	畑		25.90	休耕田	応相談
	貸付						
124	売渡	高瀬字鷹ノ爪	田		25.27	そば	15万円
125	貸付	原子字山元	畑	無	31.66	休耕田	無償貸与
126	売渡	金木町芦野	畑		9.50	休耕田	応相談
127	売渡 貸付	俵元字松代	田		0.67	休耕	応相談
		原子字紅葉	畑		32.54		
		豊成字田子ノ浦	田		2.15		
128	売渡 貸付	金木町嘉瀬雲雀野	畑		8.41	休耕田	応相談
129	売渡	金木町喜良市弓矢形	畑		19.50	休耕田	応相談
130	売渡	金木町喜良市坂本	畑		10.61	休耕田	応相談
131	貸付	金木町芦野	畑		9.10	休耕田	応相談
133	売渡	金木町川倉外沢	田		44.96	水稲	20万
134	売渡	金木町芦野	畑		15.62	休耕田	交渉次第
135	売渡	原子字志多	田	有	0.72	休耕	交渉次第
	貸付						
136	売渡	沖飯詰字霞	田	有	20.56	水稲	交渉次第

※農地を売りたい貸したい方、買いたい借りたい方は、農業委員会にご相談ください。